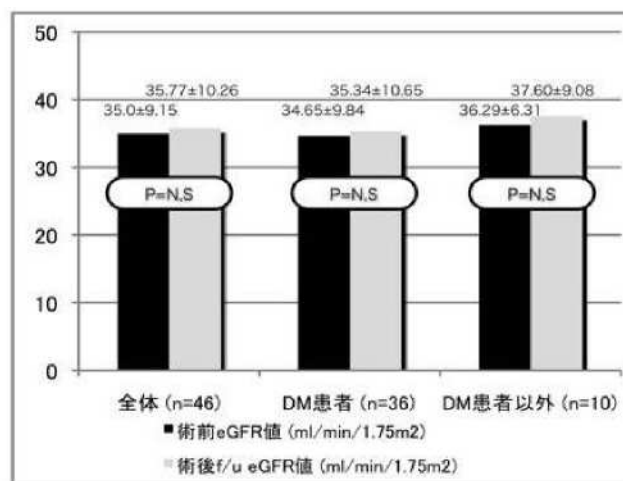
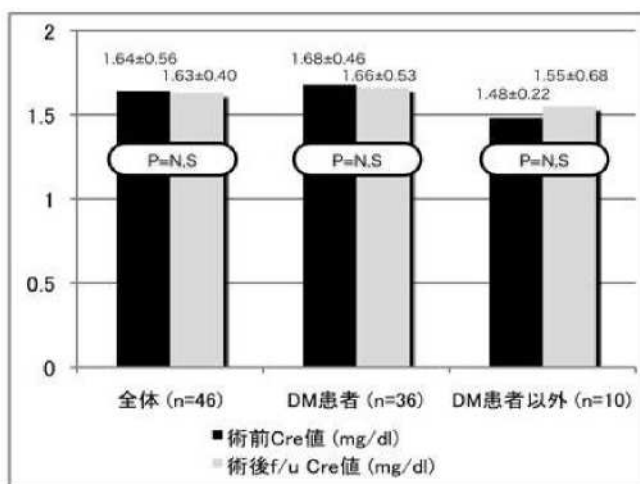


【目的】軽度腎機能悪化患者に対して、造影剤使用によってさらなる腎機能悪化を予防する為に、Intervention 中に高効率持続的血液濾過透析(以下Hi-CHDF)を施行した場合における予後効果を検討した。【対象】2006年3月～2009年8月に施行した症例でCre値1.3mg/dl以上3.0mg/dl未満の患者46例。【方法】術前Cre値と術後および外来follow-upの平均Cre値の比較と、Cre値よりGFR(糸球体濾過量)を算出し、術前eGFR値とfollow-up eGFR値の平均を比較する。また、DMの有無での比較を行う。

【結果】グラフ参照。【考察】造影剤使用前後でのCre値およびeGFR値に有意差(P=N,S)は認めなかった。また、DM患者だけを比較しても、有意差は認めなかった。術中にHi-CHDFを施行することにより腎保護だけでなく、術後にHDを施行するより身体の拘束時間などの負担が軽減されるため、有効な方法の一つであると考えられる。



平均f/u期間(日): 全体=88.21±110.21 DM患者=90.94±94.46 DM患者以外=80.9±161.1